



上瀧 政登

## アイルの振興を

市長 具体的に計画を練る

**問** 保健福祉センター『アイル』の集客力を上げるための振興策、将来の考え方、目標、余剰温泉水の活用についてどう考えているのか。

**答** 有料入館者数が毎年減ってきており収入不足になっている。温泉施設の活用を増やすには、家族風呂・サウナ・仮眠室などの要望が出ているので満足できる空間として検討していく。周辺の整備として農地を活用し四季を通じて観賞できる花園などを整備する計画を現在練っている。集客力を高め市内へ観光客を増やす施策が必要と考えている。



▲アイルの遠景

ではない。軽減はできないか。

**答** 農業用施設の維持管理として大きく3事業で対応している。国、県、市の財政が厳しい状況の中で事業採択も遅れざるに

**問** 小城市の主要産業である農業者の所得が減っている現状で耐用年数が経過した施設が存在する。受益者は農家だけ

### 農業用施設の受益者負担を軽く

いる。今後は維持管理事業の創設を働きかけるとともに、地元の人達は施設の補修が大きくなる前の予防対策を十分やっていただきたい。

岸川 英樹



## 22年度予算の基本的な考えは

市長 効果的な行政サービスに努め、予算を編成



▲建設中の牛津中学校

**問** 市長が2期目に取り組む事業、効果についてどう考える。

**答** 2期目に取り組む事業として、ごみ処理のための中継センターの整備。下水道計画の見直しの中での小城市の整備。教育関係では、引き続き牛津中学校の改築と芦刈地区の小中一貫校の取り組み。小城市の経済雇用対策として、即戦力工業団地の整備と企業誘致、中心市街地の活性化

美しい環境を生かした景観づくりに努めていきたい。

**問** 22年の歳入①市税の徴収見込み、②地方交付税の見直し、削減等について見通しは。

**答** ①市税については約40億円程度で徴収率のアップに努める。②地方交付税については、国の動行を見きわめながら、予算編成方針を若干修正する分は柔軟に対応していきたい。



諸泉 定次

### 自然保護及び環境保全条例の制定の考えは

市長 小城市の自然保護は、政策の中で訴えたい



▲市内のかくれた馬場地区の湧き水(小城町岩松)

**問** 全国名水サミットに合わせ、市内の湧き水の水源を整備したらどうか。

**答** 天山山系の水が非常に少なくなっており湧水も少なくなっている。江里山の甘露水や指摘の馬場の湧き水とか整備することも大事だ。

**問** 江里山の棚田が22世紀に残したい県遺産に自然環境として初めて認定された。高齢化で維持管理も難しく自然保護の条例化で集落への援助や助成の考えは。

**答** 市内の小・中学生のアンケートに、小城市は自然環境が非常にいいと一番出てくる。今後、条例化か、政策の中で訴えていきたい。

### 雇用促進住宅の購入を

**問** 雇用促進住宅について、11月に団地自治会をはじめ校区の区長会育友会など市での買い取りの要請が行われた。県内でも有田町が購入し全国的にも21年3月から9月の半年間に22か所が自治体で購入している。購入の課題はなにか。

**答** 市としても、何らかの対応を図りたい。買い取り費用、維持管理や損益など分析している。地元からの要望を真摯に受け止めている。

### 福祉行政の在り方は改善されたのか

副市長

老人クラブの事務局はどこに置くか定めなくてよい

**問** 老人クラブは元気高齢者の団体であり事務局は公民館でお世話すべきであり、老人クラブ衰退の改善できたのか。

**答** 指摘のように一歩踏み込んだ対応は努力していくべきだ。

**問** ①障害者スポーツの理由は②障害者雇用の支援のための仕事など、行政の障害福祉はその点どう考えているか。



下村 仁司



▲小城市身体障害者福祉協議会 グラウンドゴルフ大会

**答** ①障害者計画を策定し、それに基づいたサービスが行われている。②雇用相談支援センターの内容は把握していない。

**問** 佐賀中部広域連合の資料では地域包括支援センターは指定介護予防支援事業の業務の実施状況が南部と北部は違いがある。違いの理由は。

**答** 包括支援センターから出された資料と違うが内容は把握していない。

**問** 6月議会ですべて平等に欠けていないと言うなら、チェックすべきではないか。市民の方々は法に従って公平にサービスを受けられるシステムはぜひ行政として守るべきだ。



明石 壽彦

## 牛津川流域の水害対策を

### 市長 牛津川河道掘削を計画

**問** 危険水域に達したときに排水ポンプを止めなくてはならない対策が必要ではないか。

km牛津川河道掘削を計画されている。

策部会を設けて国に対して要望活動を行っている。

### 農業用排水整備を

**答** 21年度から22年度で10億円の予算で戸崎排水機場付近から小城町山崎排水場付近まで約7

**問** のり面の崩壊がひどく排水の役目を充分に果たしていない。年次計画で護岸工事をすべき。

分には現状ではない。年次計画で護岸工事をすべき。

**問** 新幹線長崎ルートは牛津町を分断するような新幹線は反対という意見が多い。費用対効果なし。市長は反対ということをはっきり言うべきではないか。

**答** 地元的首長として現在国策で行われていることに対してどう対応していくかが大切。連絡協議会の中で地元の意見を引き続き要望していく。



▲牛津江排水機場

**答** 小城市内の水路総延長298km整備済み。184km全体の62%については現在筑後川下流土地改良事業推進協議会の中にクリーク対

岸川 弘文



## 水害のないまちづくりをめざせ

### 市長 ポンプ稼働再開が遅れたことの要因

**問** 7月26日の友田地区7時間の冠水の要因と流域内のポンプ稼働は適切であったか。

**答** 当日午前3時から午後1時まで129・5ミリ、1時間最大雨量39・5ミリの豪雨で、友田排水機場のポンプを35分間停止したことにより湛水深10cmになったことと、上流部の江津ポンプの再開時間13時を17時に連絡が遅れ、ポンプ稼働

が4時間遅れ、大変申し訳なく思っている。

**問** 深刻化する地球温暖化に対応するために職員の高揚、上下流のポンプ増強対策、塵芥処理場跡地を遊水池の拡張と重点地区の監視体制強化について、どのように考えているのか。

**答** 知識高揚は、毎年雨季前に研修会を実施し、各庁舎のふるさと配備と連携を図り、災害の未然防止に努める。またポンプ増強などについては、江津、柿江樋管ポンプを有効に利用する。

遊水池の拡張は、現遊水池で容量を確保できている。重点監視体制では、河川モニタリングシステムを導入する計画である。



▲冠水した友田地区水田



中島 正之

## 芦刈小・中学校は同時に建設し一貫校を

**市長** 一番いい方法をと、今作業を進めている状況



◀芦刈小学校



芦刈中学校▶

**問** 23年度から小学校を  
改築の予定だが一体  
的に中学校も改築した方  
が仮設校舎もいらな  
いし、建設コストも安  
くなるので同時にで  
きませんか。地元PTA  
の意見も取り入れら  
れるべき。

**答** 教育委員会のほうで、  
一体的に建てた場合  
にどのくらいの事業費が

要るのか、国庫補助や起  
債などがどうなるのか慎  
重に検討している。現在、  
財政的なシミュレーショ  
ンもやって一番いい方法  
をとっていきたいという  
ことで作業を進めている  
状況。PTAの意見も加  
味しながら、判断してい  
きたい。

どういったものが一番  
いいのか十分精査し、こ  
の一貫教育に取り  
組みたい。執行部、  
教育委員会、現場  
の皆さん達との協  
議の中で進めてい  
く。

### その他の質問

- 水道料を安くす  
るため、小城市  
水道と西佐賀水  
道の合併につい  
て
- 執行部の意識の  
改善について
- 区長会について



堤 謙太

## 活力ある街、 にぎわいのある街づくりを

**市長** 事業化に向け取り組み



▲中心市街地活性化事業が始まる本町商店街

**問** 中心市街地活性化に  
対する取り組みは。

**答** 環境基本条例、計画  
に基づいて、ゴミの

**答** 6月21日に佐賀  
県の第1号とし  
て、内閣府より認定  
を得た。ハード・ソ  
フト面での再生整備  
計画を作成し、(株)ま  
ちづくり小城・中活  
協議会と事業化に向  
け取り組んでいく。

**問** 地球温暖化に対  
する取り組みは。

**問** 下水道小城処理区  
の取り組みは。

**答** 国のマニュアルの見  
直しにより小城処理  
区域を見直した。区域外  
は市町村設置型で、一日  
も早く認可を取り、着工  
したい。

**問** 新型インフルエンザ  
に対する取り組みは。

**答** 新型インフルエンザ  
は11月初旬より優先  
対象者に対し接種を行っ  
ている。マスクを対象者  
に対し1人10枚を配布し  
た。今後も手洗い、うが  
い、マスク着用の周知徹  
底を図っていく。

減量化、分別収集、温室  
効果ガスの削減に積極的  
に、CO<sub>2</sub>の総排出量の  
6%削減を目標に取り組  
んでいく。



江島佐知子

## 市立保育園の民営化は 教育的配慮が必要

### 教育長

十分な話し合いをしながら  
進める

**問** ①牛津保育園は業者が決定したが、民営化実施に向けて児童の園での生活への配慮が必要。

②民営化推進にあたっての今後の留意点は。③一部市立のまま継続させて保護者の選択を確保する必要はないか。

④現在保育士は正規職員より臨時職員が多い状態だが、園児への影響は。

### 答

①市・保護者・業者の三者協議を設けてスムーズな開園をめざす。②保護者、地域に周知説明をしながら意見を聞いていきたい。

③調査検討委員会を設置する。行政改革、教育の本旨などを考慮し総合的に判断する。④正規、臨時の隔てなく研修の機会を与えている。園長など経験豊かな保育士の指導も受けられる環境にあり特に影響はないものと考えている。

**中心市街地活性化事業は市長のリーダーシップが重要**

**問** ①まちづくり社会、市民、庁舎内の連携はできているか。

②市長のリーダーシップを發揮すべき。

### 答

①庁舎内での検討部会、市民との活性化協議会などで推進中。②総合的な観点を持って事業を確実なものにしていくよう取り組む。

### その他の質問

○入札・契約業務の一元化について



▶民営化される牛津保育園

今村 昌幸



## 真に市民の期待にこたえうる予算編成を

### 市長 効率、効果的な市政運営に取り組む

**問** 補助金、税収増が見込める時代は終わった。予算査定の本格的な改革、見直しが必要だが。

**答** 政策決定、あるいは査定へのあり方について庁内で一番いい選択をとっていきたい。

**問** ゴミ処理事業は、既存地に1億5千万円の仮設で唐津へ運搬が可能ならわざわざ君ヶ坂に中継基地14億円の計画は無駄金、必要ない。どこから運ぶも臭気迷惑など条件は同じ。計画の見直しをすべき。これこそが行革、合併効果になる。

**答** 地元のみなさんの説明をしている。今回計画どおりと考えている。

主財源の確保、ひとり立ちが困難、施設整備が必須では。

**答** 市として協力できるところは協力する。

**問** 自然破壊として中止した運動公園は荒れ放題で10年経過。造っておけばよかった、なぜ中止をしたかなど多くの声。何もしないのが自然破壊、跡地は条例違反。

**答** 利活用については今後の検討課題である。

**問** 市のスポーツ振興策は、体育協会現状の施設では自



▲運動公園跡地



合瀬 健一

### 市財政に事業仕分けの導入を

市長 事業をしっかりと仕分けることは必要



▲事業仕分け

**問** 事業は、民間でできるものは民間で、どうしても民間でやれないものを公でやるのが本当だと考えるが、21年度は市ではどの位の事業を行っているか。

**答** 事業そのものは700近くのをやっている。

**問** 市の経常収支比率は20年度で91・5%であり財政は非常に硬化している。また、平成22年度は諸事情により21年度より厳しい状況が予想

され、財源不足の度合いは将来に向けて深刻化する懸念される。そこで、民主党政権が行っている事業仕分けを導入したらどうかと提案する。この事業仕分けとは、自治体職員と他の自治体職員、民間議員などで構成するチームが行政サービス、予算事業一つ一つについて必要かどうかを議論し、必要であれば官でやるのが民間でやるのかを仕分けするシステムである。市長は、私の6月の一般質問で、財政規模は150億円位が妥当と言われたが、現在176億円にまで膨れ上がっている。事業そのものを見直してスリム化したらどうか。

**答** 今後は市の戦略的見地に立った視点の中で事業の選択をしていく必要もある。

### 赤ちゃんからブックスタートを

教育長

関係機関が連携して本来の姿に近づけたい

**問** ブックスタートは、地域の人が赤ちゃん

と保護者一組一組にきちんと向き合い、言葉かけ

と声かけをし、絵本に触れる体験をしてもらうことである。こういうポイントをおさえたかたちでの事業の実施を望む。

**答** 現在、出生届提出の際に社協より絵本を一冊贈呈している。本来のかたちにも近づけていきたい。

**問** 学校図書を充実させるための国からの図書購入費は、目的に沿って予算化されているか。

**答** 平成21年度措置率は小学校105%、中学校106%、地方交付税で来ている以上に図書

の予算化はしている。

**問** 学校図書館の図書充足率が三月中77%（他中学平均89%）と低いが、整備の背景は。

**答** 三日月図書館や移動図書館（本丸くん）の利用が大変充実しているためとらえている。

**問** 小城市子供読書活動推進計画の策定は。

**答** 平成21年度中に策定完了予定。22年4月から活用していく。

### その他の質問

○市内巡回バスなどの利便性向上への課題について



香月チエミ



▲ブックスタート



金原 修光

## 本庁舎(三日月庁舎)周辺の 道路整備

市長 計画をたてていく

**問** 今回用地取得での道路整備は。

**答** 国道203号JASスタンド横からの進入路の幅員を9mに。また三日月庁舎裏を南北に通る市道を幅員6mと考えている。

**問** 市道石木・大寺線は歩道設置を急げ。

**答** 来庁しやすいように計画をたてていく。

### 公約実現を

**問** 砥川・三里地区の定住促進をどう進める。

**答** モデルパターンをつくり検討する。また三里振興会と会談し、早く協議の場をつくる。

### 活用を急げ

**問** 運動公園跡地(小城内)を無料賃貸に。

**答** 利活用について教育関係や民間企業に呼びかける。私自身、責任を持ってPRをしていく。

**問** 定住促進策は公約か。

**答** 訴えているのは私の公約だ。



▲三日月庁舎西側市道

高木 一敏



## 均衡のとれた予算配分を

市長 2期目は、温めていた事業の具現化と思う

**問** 合併して5年目、合併前からの事業や駆け込み事業の後始末が今も続いている。これまでの予算配分に疑問を持たざる得ない。小城市の総合計画もでき上がり、これからは全市民に光の当る均衡のとれた予算配分をするべきではないか。

**答** 財政状況を見きわめながら温めていた事業を具現化していく2期になると思う。

### 小城、牛津、芦刈の現庁舎はどうする

**問** 三日月に本庁舎を移転する事が決まり、計画が進んでいる。本庁方式になると、現在の小城、牛津、芦刈庁舎の方向性が何一つ決っていないがどうするのか。

**答** 小城庁舎は、中心市街地活性化事業の計画の中で計画。牛津、芦刈庁舎は、まだ白紙状

態で移転までに方向を示す。

### 県内で初めてのジェネリックカード

**問** 国民健康保険事業で被保険者にジェネリックカードが配布されている。これは大変むずかしい事業であるが当市は県内で最初に取り組み発行されている。これからの国保財政を考えることだと思う。もっとPRをすべきと思う。

**答** 7月の保険証切替えや市報で触れている。





平野 泰造

### 芦刈浄化センター処理水の放流方法は

市長 放流状況を見きわめて検討していく



▲H22.3月共用開始される下水道 芦刈浄化センター

**問** 芦刈浄化センターは一番低平地にある。処理水の放流については地区も関心が高い。使用開始も近い。放流方法は

**答** 浄化センター横に流れている弁財川に放流、弁財樋管を経て牛津川へ流す計画である。牛津川の水位が高く自然排水ができない場合は排水ポンプの稼動となる。状況を見きわめたい。

**問** 附近に排水機場が2か所ある。区長以下

役員は監視で冠水することはない。干満の差がない冬場の小潮時は、自然排水ができず、降雨がなくても上流よりの流入で今年も1月〜3月3回運転を行った。こういう状況下であるので地区からの堤防越の要望がでてくる。国土交通省管轄の弁財排水機場は四六時中水位外水位の記録がされている。下水処理場と排水機場とリンクし、危険水位を知るシステムはできないか。

**答** リンクする件は河川事務所と協議したい。処理場完成直後は流入量が少ないがどうしてもだめな場合は、調整池の設置か河川占用協議をし、堤防越を考慮するか、今後の放流水の部分を見きわめて検討していく。

### 福祉日本一のまちづくり 本気で目指せ

市長 しっかりと事業に取り組む

**問** 福祉日本一のまちづくりへ向けての今後の取り組みは。

対応はどうするのか。

**答** 地域で何を求められているかを的確に把握しながら、安心して安全に住める地域社会を構築し、福祉政策につなげていく。

**答** 市全体で下水道区域が130ha減になる。エリア外については合併浄化槽を市町村設置型で整備して行く。市民への説明は、年度内に庁内調整を図りその後、説明を行う。



中島 正樹

**問** 下水道計画の見直しはどう推移し、今後のエリア内外の考え方は

**問** 市としての観光行政の考え方は。



▲清水の竹灯り

**答** 天山から有明海まで多くの観光要素を持ち、色々な産業が根づいて発展をしている。これらを有効活用して行かねばならない。

**問** 数多い要素の中で、重点地区と、今後は

**答** 観光整備地区は清水地区、課題として、駐車場、参道などがあるが年次計画で整備を行う。





樋渡 邦美

## 市民の声の反映は

### 市長

地域の代表者である区長をパイプ役に

**問** 住民と一番身近に接している各地区の区長の位置づけを市長はどうとらえているか。また区長会の意見をどう市政に反映しているか。

**答** 地域の色々な問題、行政だけでは状況把握はできかねない。地区住民の方と行政との調整役をお願いしている。また要望などについては、対応できるものと、できかねるものもあり約2週間以内で説明することとしている。

### 本庁舎の整備状況について

**問** ①来年4月以降の計画と問題点は。

②本庁舎に関連する周辺道路、特に庁舎西側の市道整備は。

③周辺地域との意見交換会というか説明会はいつ頃されるか。

**答** ①まず22年度から駐車場の造成工事を計画しているが、問題点として市道「江利大寺線」が通学道路のため、交通安全の配置などにより安全な誘導などを行う必要がある。

②市道「江利大寺線」の道路整備は本庁舎移行までに歩道を含め検討する。

③道路整備を含め計画書ができた段階で大寺、また道路関係の江利・立石・江口地区との説明会を行う。



▲本庁舎が予定されている三日月庁舎周辺

松尾 義幸



## 毎朝400台の自転車で大混雑の小城駅

### 市長 駐輪場が大変不足、対策が必要

**問** 通学の高校生、通勤の人の自転車で大混雑をしていて。現状をどうとらえているか。

**答** 駐輪の可能台数は200台、平均約400台駐輪。200台近くがオーバーしている。近隣の店舗前や歩道にまではみ出して駐輪されている。駐輪場が大変不足していることは、認識している。中心市街地活性化事業のエリアに入っている中で、その中で対策を講じる必要がある。

**問** 羊羹屋の西側に空き地が3筆ある。この土地を相談して緊急な駐輪場を設置すべきではないか。

**答** 緊急課題でもあることなので、駐輪場や駐車場も含め、中心市街



▲小城駅前に置きっぱなしの自転車

地活性化事業の中で早急に取り組んで行きたい。土地は、購入することを前提として概算の予算もあげている。地権者の意向も聞きながら進めて行きたい。

### その他の質問

○小城市民病院の現状と他の医療機関との連携、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の採用拡大について



深川 高志

### 可燃物焼却委託の財政負担はいくらか

市長 焼却単価は、保留中



▲一般廃棄物中継応急対策施設

- 新幹線西九州ルート安心安全対策について
- 安心生活創造事業について

#### その他の質問

**問** 平成22年4月から可燃ごみは、天山共同塵芥処理場で焼却せず、唐津のクリーンパークさがに焼却委託される計画だが、次の事についてどうなっているか。

①焼却単価について、いくらで決めたのか。

②焼却委託は何年契約なのか。

③小城市における一般廃棄物処理に係る年間の経費をいくらかと算定されているのか。

④搬送計画については納得のいく説明がなされるのか。

ていないが、4月から搬送できると思ってるのか。

**答** ①今現在、県から来た単価(1トン当り36,900円)は保留中、今後協議にはいる。

②契約は長期間でなく、3年程度をめどとした更新で進めたい。

③全体的なつかみとして、ごみ処理全体経費で8億5,000万円ほど考えている。小城市の負担が現状より5億程度の増額になるのではと考える。

④今、搬送委託の方法のやり方を検討している。再度、決定次第、説明する。

### 一番損をするのは小城市民だ

市長 広く公募できないか協議する



三根 實

**問** ごみ中継搬送、この問題は本年1月21日、雲仙市方式を採用、車は市が所有し、運転手は入札で派遣してもらうと議会、住民説明会でも説明があった。突如10月21日の議会全員協議会で既に業者は決定している、車は業者が注文し、新会社の設立も手続き中との説明があった。また、市が車を所有しても、業者に全てを委託しても経費は

変わらないとの説明もあった。

この件について、一つの業者が未来永劫に市のごみを扱うことは問題である。透明性、競争性を働かせるためには、市が車を所有し、いろいろな運送業の方にチャンスを与えた中で入札を行い、業者を決めるべきだ。今の方法が一番損をするのは小城市民だ。



▲天山塵芥処理場でのごみ焼却は3月で終了する

**答** 小城市のごみを一か所に集め、唐津の県の施設で焼却する計画を進めている。議員が言うように、当然競争性は図れない。業者から金額を提示されたら、断れないなどの問題も出てくる。我々も、4社の企業体だけでなく、広く公募して、透明性を上げたやり方を協議している。もう時間もない。いろいろなやり方を想定し、議会、市民に広く知らせていく。